

材料薄で売り買い様子見、魚沼コシは急騰(1月の市中取引)

令和4年1月における主食うるち米の市中取引は、材料薄で売り買いとも様子見となった。コーザーごと消化に目途がついた銘柄の補充買いが中心。売れ筋は前月に引き続き1万円以内のものが主体で、居所を上げた銘柄や高額銘柄は必需筋のみ。もち米は年末年始消化分の補充がぼつぼつ散見される程度で、新規の買い声は出づらかった。新型コロナ感染急拡大で、全国的にまん延防止等重点措置が適用され、2月中旬まで行動制限がかかる展開。コメ需要の見通しも立てづらい状況が続いている。

市中相場では、浮動玉がなく必需買いの入った新潟魚沼コシヒカリが前月比2,500円高と急騰したが、対象も購入数量も限定的。北海道ゆめぴりか・ななつぼし、福島会津コシヒカリ、東北ひとめぼれ、山形はえぬきなど、商人集荷の少ない銘柄がそれぞれ下値を100~500円切り上げ。ただ、こちらも買い声は少なく、勢いはない。

新潟一般コシヒカリ、秋田あきたこまちは荷動きが鈍い。出回りの多い銘柄だけに売り物に余裕がある。新潟一般コシヒカリは前月より300円安となったが、すんなり捌けていない。秋田あきたこまちは揉み合いで、単発的に散見される下値品が小動き。その他銘柄は保ち合いも上値は通らず。関東コシヒカリは1等産地置場1万円が当面の壁になっている。

令和3年産米の市中取引(令和4年1月末)

(関東着値、包装込み、消費税抜き)

産地	銘柄	等級	8/31 現在	9/30 現在	10/29 現在	11/30 現在	12/28 現在	1/31 現在	前月差	令和2年産	
										同期差	同期比
北海道	ゆめぴりか	1等	-	12,500	12,700	13,000	13,000	13,400	400	▲ 3,100	81%
北海道	ななつぼし	1等	-	11,200	11,400	11,400	11,400	11,900	500	▲ 1,500	89%
青森	つがるロマン	1等	-	9,000	9,500	9,600	9,600	9,600	0	▲ 2,300	81%
青森	まっしぐら	1等	-	8,900	9,300	9,500	9,500	9,700	200	▲ 2,300	81%
岩手	ひとめぼれ	1等	-	9,900	9,900	9,900	10,000	10,100	100	▲ 2,200	82%
宮城	ひとめぼれ	1等	-	9,900	9,800	10,000	10,000	10,200	200	▲ 2,400	81%
秋田	あきたこまち	1等	-	10,800	11,400	11,400	11,400	11,400	0	▲ 1,700	87%
山形	つや姫	1等	-	-	17,500	17,800	17,800	17,800	0	300	102%
山形	はえぬき	1等	-	9,800	10,000	10,400	10,600	10,800	200	▲ 1,600	87%
福島	会津コシヒカリ	1等	-	10,800	10,800	11,000	11,500	12,000	500	▲ 500	96%
福島	中通りコシヒカリ	1等	-	-	9,800	9,900	10,000	10,000	0	▲ 2,000	83%
福島	会津ひとめぼれ	1等	-	9,500	9,500	9,600	9,600	9,600	0	▲ 2,400	80%
茨城	コシヒカリ	1等	10,700	9,500	9,800	9,900	9,800	9,800	0	▲ 2,400	80%
茨城	あきたこまち	1等	9,700	9,600	9,800	9,900	9,900	10,000	100	▲ 2,200	82%
栃木	コシヒカリ	1等	-	9,500	9,900	10,100	10,100	10,100	0	▲ 2,200	82%
栃木	あさひの夢	1等	-	8,600	9,000	9,200	9,200	9,200	0	▲ 2,400	79%
千葉	コシヒカリ	1等	10,700	9,600	9,900	10,000	10,000	10,000	0	▲ 2,100	83%
千葉	ふさこがね	1等	9,400	9,000	9,000	9,100	9,300	9,400	100	▲ 2,200	81%
新潟	魚沼コシヒカリ	1等	-	-	19,700	22,800	22,800	25,300	2,500	7,600	143%
新潟	一般コシヒカリ	1等	-	13,300	14,300	14,600	14,500	14,200	▲ 300	▲ 200	99%
新潟	こしいぶき	1等	-	10,700	11,000	11,000	11,000	11,000	0	▲ 2,000	85%
富山	コシヒカリ	1等	-	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	0	▲ 1,400	90%
千葉	ヒメノモチ	1等	12,600	12,400	12,100	12,200	12,200	12,200	0	▲ 1,500	89%
埼玉	雑品種	未検	-	8,000	8,500	8,700	8,700	8,700	0	▲ 1,700	84%

【市中取引】特定の場所・期間・市場(いちば)を指さず、日本で流通しているあらゆるコメが取引対象。

【市中相場】200俵前後の取引単位での玄米60kg当たり価格(消費税抜き)。包装容器(紙・フレコン)によって差が生じる場合がある。特定の場所の出来値を指すわけではなく、当社が取材によって調べ、判断している。

4年産備蓄米の政府買入入札、優先枠は4ケタで不落事例も(第1回)

1月25日、4年産備蓄米の政府買入入札(第1回)が行われ、翌26日に結果が公表された。買入予定数量20万7,000トンに対し、入札数量は約1.5倍の31万5,044トン、落札数量は20万5,550トン(落札比率99.3%)となった。一般枠は2万1,686トンの全量が埋まり、優先枠の落札残も1,450トン(9県)と、前年産に続き1回目ではほぼ全量が落札された。資格者191業者のうち、97業者が入札し、落札は32業者、不落は65業者だった。

米穀データバンクの聞き取りでは、1万1千円台後半の応札が聞かれる一方、全農系統の下値応札を見越して1万円を切る水準での応札もあったが、4ケタで不落だった事例もあり、県によってはかなり厳しい入札結果になっている。優先枠では1万1,200円弱での落札事例があったほか、一般枠では9,800円水準が落札と不落の分かれ目となったもよう。

初回入札の落札数量としては前年産を上回り、現行の棚上げ方式に変更された平成23年産以降でも最も多い。ただ、申込倍率は前年産第1回の倍率(1.86倍)を下回っており、想定された落札価格の安さから、応札を見送ったところも出たものと推測される。過去、最終的に全量落札となったのは平成26年産、27年産、28年産、令和2年産、3年産の計5回。原則として第3回入札までは県別優先枠が設けられるが、今後、優先枠が埋まらなくても、一般枠に振り替わる4回目で全量落札になるものと予想される。

令和4年産政府備蓄米買入・第1回入札結果(1月25日実施)

(単位:トン)

	予定数量	入札数量	落札数量	残		予定数量	入札数量	落札数量	残
北海道	2,162	2,162	2,162	0	静岡	20	0	0	20
青森	27,259	35,014	27,259	0	愛知	846	846	846	0
岩手	3,488	5,039	3,488	0	三重	270	370	270	0
宮城	11,600	13,668	11,600	0	滋賀	1,342	1,361	1,161	181
秋田	21,572	29,080	21,572	0	鳥取	400	100	100	300
山形	21,291	26,721	21,291	0	島根	130	130	130	0
福島	27,050	35,987	27,050	0	岡山	977	1,311	977	0
茨城	1,103	2,650	1,103	0	広島	20	20	0	20
栃木	7,602	13,990	7,602	0	徳島	1,182	1,360	1,182	0
群馬	555	2,289	555	0	高知	10	10	10	0
埼玉	463	1,475	463	0	福岡	264	0	0	264
千葉	3,985	13,190	3,985	0	佐賀	220	0	0	220
新潟	25,149	29,229	25,149	0	長崎	10	0	0	10
富山	12,197	12,531	12,197	0	熊本	247	594	247	0
石川	7,849	10,470	7,849	0	大分	94	94	94	0
福井	4,076	7,504	4,076	0	優先枠計	185,314	248,841	183,864	1,450
長野	1,446	1,546	1,346	100	一般枠	21,686	66,203	21,686	0
岐阜	435	100	100	335	合計	207,000	315,044	205,550	1,450

